

問題

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

川の水はどこから流れてくるか、その源流をたずねることにしましょう。ただ、現実に川の源流をたずねることは、山深く登らねばならず、難しいことなので、地図で探すことにしましょう。(①)、実は地図で探すのもなかなか難しいのです。川は、上流に向かうと何本もの支川しせんに分かれ、またその支川もいくつかの小さな川へと分かれていきます。(②)、川の源流はたくさんあることになります。二十万分の一などの大縮尺の地図で、分かれた源流部の見当をつけておいて、五万分の一などの地図でくわしく見るのがよいでしょう。

問 文中の(①)(・)(②)に当てはまる語句として、最も適当なものを、次のア～オの中から選んで、記号で答えなさい。

- | | |
|---|------|
| ア | だから |
| イ | しかし |
| ウ | あるいは |
| エ | たとえば |
| オ | ところで |

②	①

レベルクリア問題(2)

問題

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

語は使って行くうちに微妙に用法がずれて行き、結局意味が変化していくのである。お礼を言う場合に普通、「ありがたい」「ありがとう」という語を使う。この語は、元来「有り難し」であって、あることが困難であるという意味、**A**、この世にめったにない、世にまれである、極めて珍しいという意味である。**B**、神仏が奇蹟を表した時などに、神仏に対して手を合わせて感謝の心をこめて「ありがとう」というのは最もふさわしい場面とすることができる。柳田国男先生は、御両親から、「ありがたい」はそう気安く、やたらに使うものではないと戒められたと語っておられた。**C**、現代の人々は、「ありがたい」に、この世にめったにないというような意味を感じとることはないであろう。ただ感謝の意を表すものとして使っているし、単なるあいさつの言葉としてしか意識しない人も少なくないと思われる。

問 **A**、**C**に入れるのに最もふさわしいものを、次のア～キの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を書きなさい。

- | | | | |
|---|---|---|---|
| ア | イ | ウ | エ |
| オ | カ | キ | コ |

A		B	
C			

問題

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

人間関係をややこしくし、ストレスの原因の一つとなっているもの、それは劣等感であろう。劣等感を定義しておく、「他人に比べて自分が劣っていると感じる不安感」である。なぜ、劣等感は人間関係を悪くするのか。

①、何か失敗を他人に指摘されたとする。自信のある人は「あつ、しまつた」と素直に受け止め、対処するだろう。

②、劣等感の強い人は、たったそれだけのことで、自分の人格まで否定されたような気がしてしまう。そのため、陰でその人の悪口をいって、自分の劣等感を晴らそうとする。③、自分の苦手なことをうまくできる人を見ると劣等感が刺激される。④、その人の欠点を見つけて批判したくなる。自分が相手より劣っていると思うと不安なので、相手のほうをおとしめようとするのだ。

問 ①～④に適切な言葉をそれぞれ次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

[ア	むしろ	イ	また	ウ	しかし]
エ	たとえば	オ	すると				

①

②

③

④

レベルクリア問題(4)

問題

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

英語で教養のことをカルチュアといいます。これはもともと耕すという意味です。(①)、人が自己自身を耕して、そこから何かあるよいものを育てあげてゆることが教養ということです。(②)、これはただの知識や趣味とは違う。(③) 広く知識を求めることはよいことです。(④)、単にものごとをたくさん知っているというだけでは、まだ教養とはいえません。

問 () ① () () () ④ () に当てはまる言葉を次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

「ア しかし イ だから ウ つまり エ むろん」

①

②

③

④